

総合社会学部卒業生アンケート結果

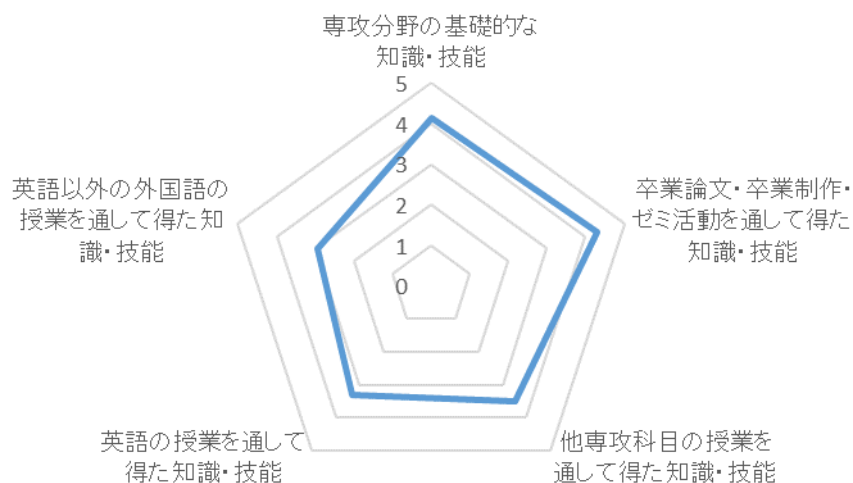
【心理系専攻】

期間:2021年10月

方法:総合社会学部 LINE オフィシャルアカウント経由でのウェブアンケート

分析対象者:記入のあった445名のうち心理系専攻の卒業生209名

【1】 大学での学びは、卒業後、どの程度役に立っていると思いますか？
(全く役にたっていない0～非常に役にたっている6)



【2】印象に残っている授業について(65名の有効回答)

一部をピックアップして紹介します。

大変だった授業が今となっては良い思い出

・心理学講読の授業で、英語で書かれてある教科書を読み、内容をパワーポイントでまとめて発表し、質疑応答に答えるといった授業を受けました。発表形式も実際の研究発表と同じように目的・方法・結果・結論といった形式に沿って説明しないといけないので、準備がとても大変でした。しかし、この一連の流れが次年度のゼミの授業や卒業研究に役立てられたので、今となっては良い思い出です。

・統計の授業。心理系でこんなに統計を使うと思わなかったので苦労しましたが、よく覚えています。

・はじめは論文制作にあたり根拠を求めることの意義があまりわかりませんでした。論文制作を通して、また社会に出てからその必要性を身に染みて理解できました。

・レポートや研究、卒業論文が大変でしたけど、それを乗り越えたことで今でも辛い時に思い出してまだ頑張れると思うことがあります！

・統計の処理が分からず、グラフが作れなかったので、友達と協力して夜遅くまでレポートを書いた。出来上

がった時の喜びはひとしおでした(笑)。

・心理学実験です。初めて器具を使った実験を行い、分析まで進めた最初の授業だったので印象深いです。

少人数ゼミでの濃い時間

・基礎ゼミ／過去の論文や研究成果を発表する内容だったのですが、発表のために初めて研究事例に触れ、大学生になった！ととてもワクワクしたのを覚えています。

・ゼミで発表をしたあといつもディベートしたこと。自分の意見を交換し合える授業が他になかったので新鮮だった。実際に討論するスキルが就活で必要だった。このような授業を一年の時からやっておきたかった。

・ゼミが1番印象に残っています。先生とたくさん話し合っただけでテーマについて考えたことが思い出深いです。

・ゼミでの時間が非常に印象的です。尊敬できる先生のもとで、ゼミの仲間たちと力を合わせながら学ぶことができた時間が大切な宝物です。

専門的な心理学を学んだこと

・血液型占いの本を渡されて、自分の血液型と違う本でも、当てはまっていると思ってしまう。当てはまらないものは例外とされる。ということを知った授業。それ以来好きだった血液型占いを信じなくなりました。

・子供の年齢ごとに接する際の指標となる精神状態など講義にて取り扱ってもらえてとても印象深いです

・“テスト勉強をしていない”ということによって、点数が良い場合は「勉強してないけど、点数がとれた」、点数が悪い場合は、「勉強してないから仕方ない」と自分のプライドを守れると授業で聞いた時に、たしかに、と思いました。

・特に印象に残っているのは、アサーティブ、自分と相手を大切にすることを伝える回で、「ネチネチと嫌味っぽく(ねっちー)」「感情的に(どっかん)」「消極的に(おろろ)」の3種類の伝え方を3人のグループに分けて寸劇で発表すると言うものでした。いきなり寸劇をやるのは焦りましたが、ネチネチと嫌味っぽくした時に、アドリブの劇にもかかわらず演じやすすぎて、自分のコミュニケーションの取り方はこれだったんだな、と反省しました(笑)。自分が普段どのような伝え方をしているのか客観的に見ることができ、自分のコミュニケーションのありかたを改めて見直すきっかけになりました。

・心理学の授業でペアになって会話の練習を行った授業。相手の目を見る、頷きを入れるなどを意識して相手の話に興味を持っているしっかりと聞いているということを伝える話の書き方を学んだ。普段の上司や友人との会話の際もそれを意識をしている。

・家族の問題を学び、自分の家族の問題と距離を置いて考えられるようになった。

専門外の知識が印象的

・ボランティア論での病児保育の講演です。当時はピンときませんでしたが、子育てをするようになり、病児保育サービスの講義を思い出しました。

・アセンブリーアワーに LGBTの方が来て、実体験やどのような気遣いが可能なかを教えてくださいました。時代にマッチしていて(当時はまだ今ほど LGBTへの理解が進んでいなかったように思います)、印象的でした。

・1時間に及ぶドキュメンタリーをみて、映像への違和感や、演出の仕方に誘導をはらんでいること、疑問を抱かないことへの危惧や危機感を学びました。解説を聞いた後のドキュメンタリーが全く違うものに見えた

のを覚えています。

- ・国際社会と異文化理解の授業です。中国留学のエピソードなどを挙げるとキリがないです。
- ・いのちの尊厳では、いのちの重みや大切さに触れることができたと思います。いのちについて深く考える機会がなかったので自分自身を見つめ直すすごくいい機会になったと思います。
- ・3年の時のフランス語の授業。ただ語学を教科書に沿ってやるだけでなく、ワインの産地や歴史に沿ってフランス語を学んだ。意外と身近なことでも興味をもてるように工夫することができるんだなと感じた。

[3]大学時代の学びや出会いが、今に生きていると思ったこと(有効回答 79 名)

一部をピックアップして紹介します。

人との付き合い方

- ・後輩に仕事を教えるときに、やってほしい“行動”が増えるように取り組んでいました。
 - ・講義のグループワークやゼミ活動で初対面の人と割としっかり話すことが多くありました。初対面の人と話さなければならない状況は社会に出ると想像以上に多くあるので、そういった状況でのコミュニケーションの取り方は大学時代に鍛えられたと感じます。
 - ・大学での人との関わりを通して、自ら主体的に人と関わることの大切さを学びました。
- 大学での勉強やゼミでの活動において1人ではできることもあります、人と協力し合っって初めて論文も形になり、授業で学んだことも活かせたと思います。

大学での学びがそのまま生きている

- ・卒論を通して、最後まで諦めない大切さと、何事もまずは疑い、自分の中で咀嚼して考えることの大切さを学んだ。
- ・卒業後大学院に進学し、現在相談員として働いています。授業で学んだ基礎的なことや、先生方との出会いがあったからこそその職場で働いているので、大学での学びはそのまま生きていると感じています。
- ・うまくいかないときは、ただ悩むだけでなくとりあえず何か環境を変えてみるという考え方が身に付いています。
- ・ゼミを通じたボランティア経験が就職活動の指針になった。就職後、ハングル文字を読めることで生徒との共通の話題ができた。
- ・傾聴姿勢を学んだこと。就活のディスカッションや仕事での話し合いの際、他の人よりも聴く姿勢を褒められることが多かった
- ・自分の知っている世界はほんの一部だけで、知らないことがたくさんあること。心理学を通して、人の気持ちを理解することはとても難しいと学んだ。だから、他人の考えを無理に理解する必要はなく、人それぞれいろんな考えがあると捉えれば良い。このように考えることで、人との関わりが楽しくなった。
- ・心理学を学び、行動や思考パターンから、自分や人を客観的な視点から見ることができるようになった
- ・私が心理学で学んだことは、「自分を受け入れる」という考え方です。これは卒業論文のテーマとしても扱ったこともあり一番印象に残っていることです。具体的なエピソードはないですが、不甲斐なさや無力感を感じることがあった時はこの考え方を思い出して自己否定をしないようにしています。
- ・今携わっている仕事は販売促進にあたり、相手にどうすれば購買意欲、興味が湧くのかという心理を考え

るので、その面で少し役に立っているように思います。

・いま現在、総務部として働いています。大学で学んだ心理学は、社員の方をサポートするという上でとても役に立っていると思います。

・ニュースなどを見ている「ゼミで習ったのでこういうのあったから、こんな考えもできるんじゃないかな」など違う方向から物事を見ることができてる感覚があります。

エクセルやワードなどのスキルが強みになる

・研究結果をまとめるのに何度も Excel でグラフを作成したり、ピボットテーブルを使ったり、Word でレポートを書いたりしたので、社会出てから臆することなく前述のソフトを活用出来るようになって良かったです。

・心理の授業で excel や統計学を学びましたが、これは今の仕事でも十分活用できていると感じています。営業なので、実際に統計は出していませんが、出そうと思えば出せることは、身になっているかと。

プレゼンのスキル

・ゼミで自分で調べた論文を人に説明する経験したことは、社会人としてもすごく役に立っています。

・ゼミでのプレゼンが、今の営業という職種に活かしていると思います。

・ゼミでの発表が、会社での研修での発表や宣伝物の作成に役立っています！

今につながる出会い

・学部内での出会いや、部活での出会いなどたくさんの人と関わることのたのしさを知った。またボランティアで SST に行ったことがきっかけで、子どもと関わる仕事に興味を持ったので大きなきっかけを与えていただいたと思います。

・大学で出会った友人と今でも仲良くできていること。

・夏休みの1ヶ月ポンド大学への留学プログラムで夫と出会ったこと。

・今でも大学時代に出会った人と一緒に仕事などすることがある

・コロナ前は卒業後も毎年集まっていたほど、ゼミ生や先生と素敵な出会いができました。研究室からの紹介で参加したボランティア等の経験や、研究室でのディベート、協力して楽しかった大学祭での模擬店出店等が、直接的ではありませんが、自身の大学生活を振り返るに当たって自信となっています。結婚相手にも近畿大学で出会うことができました。

・濃い時間を一緒に過ごした友人と今でも連絡とって会ったりして人のつながりの大切さを実感しています

・人との出会いは、高校生までの間で1番色濃く、自分の人生を左右させていると思います。社会人になって、連絡取るのも、たまに会うのも大学時代の友達が多いです。

多様な価値観との出会い

・たくさんあるのですが、ゼミの存在は私にかなり大きな影響を与えてくれたと思います。友達の研究を見たり、お互い研究について相談したりしているうちに視野や知識の幅が広がりました。例えば私の友人はセクシャルマイノリティに関する研究をしていたので、私も内容についてわからないところは個人的に調べたりしていました。そこで自分がいかにセクシャルマイノリティに関する知識がないのかを思い知ったのは、大学

生活の中でも大きな変化だったように思います。出産をしてから、自分の子供にセクシャルマイノリティについてどう説明するのか、子供がカミングアウトしてくれてきたとき、親としてどう接するべきか、などと考えることもあるので、自分からは調べなかったことを調べるきっかけとして研究について話し合っていたあの時間はとてもいいものだったなと思います。

・近畿大学は人数も多く、部活やサークルも多いため、自分に合った居場所を見つけやすいと思います。自分と似たような人と活動することもあれば、反対の人と活動することもあります。社会に出ると、コミュニケーションが一番大事になってくるので、どんな人と接す時も構えず接することができます。

・いろいろな人と出会い、いろいろな人と話すことによって、そういう考えもあるんだ！という気づきの場になりました！良くも悪くも、絡む人を判断する能力が身につきました！特にサークル活動やゼミでは上下関係がつきものであり、憧れの先輩を見て自分で真似し、後輩にそれを継承すべく自分の行動を見直せました。

【4】総合社会学部心理系専攻のお勧め度

全くお勧めしない0～自信をもってお勧めする10

平均点 8.0±1.5点（得点範囲:1-10点）

【5】卒業生から現役生・高校生へのメッセージ(有効回答 106名)

一部をピックアップして紹介します。

・終わったから思うことかもしれませんが、学ぶことはとても楽しいことです。視野が広がり、相手を理解し、自分も成長できる。今、将来の夢がわからない方は、是非一生懸命に勉強するといいいと思います。高い山から見る景色は今と全然違いますよ！

・自主性を育てておけば、あらゆる面で役立ちます。

・今思うこととして、自分が何かやりたいなど少しでも感じたらそれをできる環境に身を置くということがその後自分が本当にやりたいか判断できる方法としても1番良いと感じます。

・社会人になって、お金よりも時間の方が価値が高い事にやっと気付きました。時間を有効に、たまに無駄に使いながら充実した大学生活を送ってほしいです。

・自分がしていたアルバイト(塾講師、飲食店)でも学んだことは多かったのですが、もっと珍しいアルバイト(例えばキザニア甲子園等)をしておけばよかったと思います。社会人になってからだと、そういった経験はできなくなるので。旅行や大学のイベントにももっと参加してみればよかったなと思います。社会人になってから知ったのですが、近畿大学ではKINDAI SUMMITや著名人の演説等、おもしろいイベントがたくさんあります。

・将来についてもっと真剣に考え向き合っておくべきでした。「人より劣っているわけではないし、流れに身を任せておけば上手く行くだらう」とたかを括っていましたが、就活では惨敗し、卒業後3年くらいは派遣社員で苦しい生活を送る羽目になってしまいました(現在は転職して収入は上がりましたが貯金はありません)。もちろん努力して希望の会社に入れたとしても、理想と現実のギャップに悩むことはあると思います

が、「自分は努力してここまで来た」という自信には繋がると思います。

・在学中にもっと色々なことに挑戦していれば良かったと思う。大学生ほど時間のある時はないと思う。社会人になってからもっと勉強しておけば良かった、留学していれば良かった、色々なバイトをしていれば良かったと思う。色々なことに興味をもって自分で動いたことは必ず実体験として記憶に残るし、今後に役立つ。

・大学生のうちにできることとして、興味を持ったことはやってみる、長期旅行に行く、他学部の交流を作るは是非やって欲しいなと思います！社会に出てからは何か学びたい、授業を受けたいとなれば受け分だけ料金が発生します。何単位取っても、図書館や他施設をどれだけ使っても学費は同じですので、大学では興味のある授業があれば受けてみるのが良いと思います。またそれがアルバイトなら掛け持ちしたり複数経験するのもいいと思います。長期旅行は特に社会人になって感じますが、1週間レベルの休みはかなり取るのが難しいです。ぜひ海外旅行に行きたいと考えている人は学生のうちに1度は行って欲しいです。他学部の方との交流は抽象的ですが、やはり視野が広がり新たな自分の発見にもつながります。今後ずっと仲良くできる良い友人に巡り合えることもありますのでサークルや語学センターなど学部外の関わりを持つこともオススメです。

・ゼミでも十分色々な心理学の知識は身につきましたが、どうせならもっと他の心理の勉強も真面目にやっていたらあらゆる場面で役にたつだろうな…とは思っています。自分の興味のある分野だけでいいから、しっかり勉強しておけば案外将来の役にたつと思います。

・卒業する以外の目的を持って過ごすこと。何でもいいので何か目標を作り目指してください。自分から動くのが将来に生きるはずです。

・周りの目を気にせずに自分の好きなことした方が良いです。サークルとか、友達付き合いとか、取る講義まで。社会人になると好きなことでもする時間が少なくなり、新たな一步を踏み出すのも難しくなります。

・専攻問わず語学はしっかり身につけておいた方が将来の幅が広がる。

・たくさん遊んで、色々な所に旅行にも行って、色々なことを経験してください！勉強ももちろん大切ですが、人と人との出会い、繋がりはそれ以上に唯一無二の財産です。失敗さえも若気の至り！無駄なことなんて何一つありません。今しかできないことしかない、大学生活を精一杯楽しんでください♪

・もっと近大の施設を積極的に利用すればよかった！と思います。あんなに設備があるのに10パーセントも使ってないのでは？と今は後悔！使えるものは使っておくんだ！若人よ！

・今やりたい、気になるなと思うことに積極的に、精一杯取り組んでください。休みたい、何もしたくないから「何もしない」でも構いません。その時その時の選択の連続がすべて将来の自分に繋がっているような気がします。

・近大は様々なことにチャレンジしたり、経験する機会が多く提供されていると思います。大学内で行われているイベント(企業とのコラボ、社会問題の勉強会など)には、もっと参加しておけば良かったと感じます。

・何か資格を取れるなら取っておいた方が、今後強いですよ。私は、社会人になってから悩みを誰にも話せず苦しんだので、そういった事を話せる人を今のうちに見つけられると楽ですよ。

・講師の言っていることも含めて、あらゆる情報を鵜呑みにせず、常に懐疑的にとらえることが肝要です。日々自分の気になっていることに対し「自分を勘定に入れず、よく見聞きし分かり、そして忘れず」を心がければ、近大の総社で素晴らしい学びができるはずですよ。研鑽しましょう。

・もっと授業をしっかり受けて知識を身につけておけばよかったと思います。心理学だと興味のある人も多いので社会人になってから、大学でこんなことを学んだと色々話すと人との話が広がるのでおすすめです！

・高校までとは違って先生方との距離は遠く感じるかもしれませんが、先生方は意欲のある学生からの質問や気持ちに積極的に答えてくれます。なので、興味があることには思い切って貪欲に取り組んでみてください！どんどん先生にもアプローチしてみてください！その繋がりが、のちに必ず生きてきます。

・楽しむ時は楽しむ！頑張る時は頑張る！メリハリが大事

・すぐおっさんになるぞ。今を楽しむんや

【6】卒業生からのメッセージを読んだ在校生より(学年は 2021 年度)

同じ学部の中でも、経験や考えは十人十色で素敵だなと感じました。夏休みの1か月のボンド大学への留学プログラムで夫と出会った先輩、ロマンチックで憧れます！また、より近畿大学を満喫したいと思うようになりました。学内で行われているあらゆるイベント(KINDAI SUMMIT や著名人の講演会等)に参加したり、施設を利用しまくったり…残り半分の大学生活、興味を持ったことや人については、積極的にアプローチをして楽しみたいと思います！(2年:古澤佳奈)

大学での学びは直接知識として役立つだけでなく、物事全般の捉え方の基礎となっていたり、人とのかかわりに対する意識の変化に繋がっていたりと、さまざまな面で活用できることに気がつきました。先輩方のメッセージを参考に、積極的に多くの人や価値観に触れ、これからの大学生活を豊かなものにしていけるように頑張ります！(2年:箕輪春南)

印象に残っている授業について先輩方が挙げていた基礎ゼミは、私にとっても思い出深いです。特に、グループに分かれて、ひとつのテーマに関する原稿をまとめ、発表練習をしたのは懐かしい思い出です。当時は、その楽しさに気づかず、発表やその準備を面倒臭いと感じていましたが、今振り返るとかけがえのないきらきらとした大学生活でした。コロナ禍の今、大学になかなか行けず友達と会うことすらままならない状況ですが、その中でも毎日を大切に過ごし、将来振り返った時に先輩方のように胸を張れるように、残り1年の大学生活を目一杯楽しみたいです。(3年:太田麻衣子)

「多様な価値観との出会い」の項目の回答が印象深かったです。大学では様々な価値観を持った人に出会うことができますが、特に心理学という学問を学んでる者同士だからこそ議論し合える話題もあると思います。私自身もその部分において心理学を学ぶ楽しさを感じることがあるので、その環境を大事にしていきたいと思いました。また、卒業生から現役生・高校生へのメッセージはとても貴重なもので参考になりました！「時間を大切に、大学生のうちにできることをする」ということは在学中でもわかっているようでわからないことだと思います。卒業生からのメッセージでは重みを感じました。制限されることが多い現在ですが、卒業してから後悔しないように有意義な大学生活を送りたいと思いました。(2年:佐藤佑香)